

れ、無所属、新人の元市職員、井坂孝行氏(59)が無投票で初当選した。【臼井真】

## 測定依頼は435件 「想定より少数」

つくば市民  
放射能測定所

放射性物質の汚染状況を市民の手で測定するため、昨年4月に設立された「つくば市民放射能測定所」(つく

ば市妻木)の報告会が12日、同所で開かれた。今年4月末までの依頼件数は435件で、約7割がコメなどの農産物。利用者の多くは、子どもや孫などに贈っても大丈夫かを確認する生産者だった。

測定所は任意団体「茨城市民放射能測定プロジェクト」が運営。寄付金を募り、放射性セシウムを検出できる機械を購入。1

回5000〜20000円の低料金で土壌や農産物などの測定を行っている。

同プロジェクトの共同代表で大学非常勤講師の藤田康元さん(46)は「利用者が想定より

少なかった。今後、インターネットを使っていない高齢者などのニーズを掘り起こしたい」と話した。また、測定結果については「サンプル数が少なく、

し、約4カ月間にわたって開催される45回目の芸術祭が幕を開けた。

オープニングセレモニーでは市立堀原小学校合唱団が「怪獣のバード」を合唱。また、

採取方法も統一されていないので、統計的には意味がない」とし、県内の汚染状況の把握は今後の課題だとした。

【相良美成】